



2700 シリーズ オーディオアナライザ

世界最高峰のパフォーマンスを提供



SYS-2722 dual domain audio analyzer

特長

- オーディオテストでの広く認められたスタンダード品として圧倒的なパフォーマンス
- 無視できるほどに低い残留ノイズとTHD+N用の専用アナログ回路
- 192kHzのデジタル入出力
- MLS、ホワイトノイズ、ピンクノイズおよび他の特殊目的波形
- APベーシックスクリプト、学習モード、LabVIEW & GPIB
- ユーザ定義によるスイープおよび最大192チャンネルのスイッチャーサポート

2700シリーズは最高のパフォーマンス、最小限の歪み、最大の柔軟性を必要とするエンジニアのためのオーディオアナライザです。

2722のトゥルー・デュアル・ドメインアーキテクチャは、アナログ信号、デジタル信号の妥協のない測定を実現します。アナログジェネレータやアナライザのパフォーマンスは、どのようなデジタルコンバータベースの設計での性能をも凌駕します。また、デジタル解析では高速で高精度な測定が実施可能であり、クロスドメイン測定は、アナログ・デジタル信号のどちらにおいても世界最高峰の性能で行われます。

2700シリーズのTHD+Nは、2.0 Vrmsにおいて ≤ 115 dBとなっており、全振幅レンジにおいてもTHD+N ≤ 112 dB 程度となります。2700シリーズは、製造業界において誰もが認めるパフォーマンスリーダーです。

ベスト・アナログ・パフォーマンス

Audio Precisionは、ベストパフォーマンスのアナログ回路を備えています。また、アナログコンポーネント等で構成された他のアナライザでも、2700シリーズの低ノイズレベルを超える仕様のものはありません。アナログジェネレータは、10Hzから204kHzの帯域幅を持っており、オーディオバンド全域で、数1000分の1dBでフラットです。アナログアナライザは、10Hz から500kHzの帯域幅を持っています。

2700シリーズは、160Vrmsの最大アナログ入力および26.66Vrmsの最大発生器出力を備えている他のアナライザ性能を上回ります。

各種モデル&オプション

ご要望に応じたアナライザをご選択頂けます。また、モジュール式のハードウェアであるため、ご要望に応じてアップグレードが可能です。

SYS-2722	アナログ/デジタル入出力 with DSP、デュアルドメイン	アナログ オプション	バースト、スクウェア、ノイズ、IMD、W&F、Dolbyデジタルジェネレータ、ソースインピーダンス他
SYS-2712	アナログ入出力 with DSP.	アナログ フィルタ	加重フィルタ、ディエンファシスフィルタ、バンドパスフィルタ他
SYS-2702	アナログ入出力 No DSP	PC インタフェース	USB、GPIBもしくはAPIB.

2700シリーズでのデジタル解析

2700シリーズは、オプションのプログラマブルシリアルインターフェイスアダプタによって、設定変更可能なシリアルデータおよびクロックポートと共に、AES3/IEC60958シリアルデジタルインターフェイスを提供します。

全てのデジタル入出力は、8kHzから200kHzのサンプルレートのフルレンジ上で使用可能です。

デジタル入出力パネルは、コネクタ、フォーマット選択、サンプルレート、レゾリューション、パルス振幅、アクティブデータビット、エラーフラグおよび受信ジッタ振幅を含むシリアルインターフェイスパラメータのディスプレイおよび完全なコントロールを提供します。ステータスビットは、プロ/コンシューマフォーマットの両方でインターフェイスメタデータを設定して読むことができます。メタデータは、16進法および英語表記の両方で表示されます。

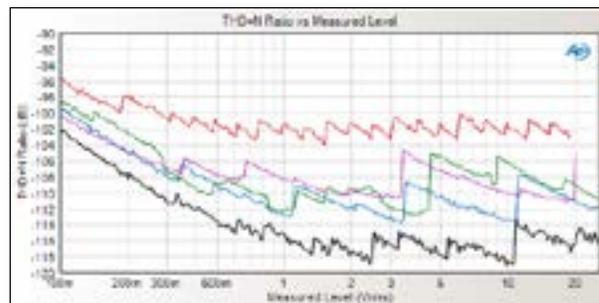
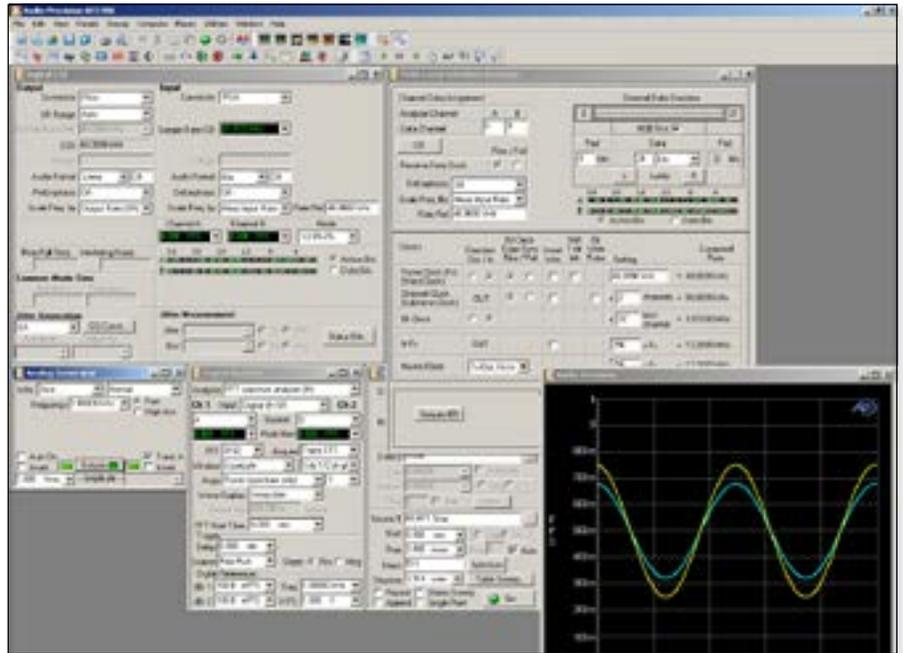
出力シリアルインターフェイス信号に妨害信号を発生させることにより、標準以下の信号を備えたAES3/IEC60958レシーバのパフォーマンスを試験します。妨害信号には、可変サンプルレート、パルス振幅/立ち上がり/立ち下がり時間、雑音の追加、同相モード信号、制御可能なジッタおよびロングケーブルシミュレーションを含みます。

デジタルインターフェイスアナライザツールは、インターフェイス信号もしくはジッタ波形とスペクトル、多数のインターフェイス測定のためのヒストグラムもしくはアイパターンを発生させるための測定、表示を行うために使用します。様々なタイプおよび振幅のジッタを生成されたビットストリームに加えて、レシーバおよび結果として生じる音声信号に対する影響を測定します。

PSIAによるチップレベルでの設計

PSIA-2722 (Programmable Serial Interface Adapter)は、ADコンバータ、DAコンバータ、サンプルレートコンバータ等のチップレベルでの2700シリーズへの接続を可能とします。

PSIAは、I2S等の様々なインターフェイスプロトコルや異なるロジックを持った電圧レベル、クロックレート、ワードオリエンテーションやフォーマットを含む他のどんなシリアルデジタルオーディオアダプタよりも高い接続性を提供します。



▲ 最大限の柔軟性
AP2700のパネルに基づいたUIは、パワーユーザが考えられるようなオーディオ測定をも提供することを可能にします。

◀ 最も低いTHD+N
現在市場に出回っている5つのオーディオアナライザとの比較値です。2700シリーズの黒線は最もTHD+Nの値が低いことを示しており、次に値の低い青線はAP社のAPx525を示しています。

2700 Series Audio Analyzer key Specifications

システム性能

残留THD+N, 1kHz
-112 dB, + 1.0 μ V, 22 kHz BW
Typical < -115 dB (1kHz, 2V)

出力性能

サイン波周波数レンジ
10 Hz-204 kHz
周波数精度
2 ppm
IMDテスト信号
SMPTE, CCIF, DFD, DIM, TIM, DIN.
最大振幅(平衡)
26.66 Vrms
振幅精度
 ± 0.06 dB
フラットネス(20 Hz-20 kHz)
 ± 0.008 dB (Typical < 0.003 dB)
アナログ出力構成
平衡、不平衡
デジタル出力サンプリングレート
28 kHz-200 kHz
ドルビーデジタル出力
オプション

解析性能

最大入力電圧
160 Vrms
最大帯域幅
>500 kHz
IMD測定器能力
SMPTE, CCIF, DFD, DIM, TIM, DIN
振幅精度(1kHz)
 ± 0.05 dB
フラットネス(20 Hz-20 kHz)
 ± 0.008 dB
残留入力雑音(22kHz BW)
 $\leq 1.0 \mu$ V [-117.8dBu]
インディビジュアルハーモニクアナライザ
d2-d15
最大FFT長
32k points
直流電圧測定
Yes

ISO/IEC:17025 ACCREDITED

Accredited by A2LA for equipment calibration under ISO/IEC: 17025. Calibration report and test data included with all new instruments.

